

# 令和7年度 地域おこし協力隊 実績報告書

森町地域おこし協力隊 松浦 侑生



## (1)活動概要

森町の地域資源である道南スギの利用促進や木育の推進、コーヒーを活用した地域コミュニティの活性化、空き家の活用を主なミッションとし、木育やものづくりを通じた地域資源の魅力向上・発見・発信に取り組んだ。また、若年層担い手育成施設の運営や地域材を活用した新製品の開発等を実施し、この一年間を通して地域おこし協力隊として下記の内容に取り組んだ。

## (2) 実施した活動内容

### ◎森町若年層担い手育成施設「iroMori」の活用、運営管理

※イベント開催や町内外での活動を通じて、iroMori や木育の町内外の人々への認知度向上を行なう。

- ・山と木と東京 木いちマルシェ（道南スギ×森町縄文のグッズ開発・制作）（4月）
- ・Matsu Cafe 軽トラ屋台の制作、営業許可取得（6月）
- ・iroMori にて木製野菜箱の制作キット作成及びワークショップ開催（7月）
- ・iroMori にて児童デイサービスあおぞら  
看板・フォトスタンド制作ワークショップ開催（8月）
- ・iroMori にて静岡県森町、北海道森町交換交流会 木育ワークショップ開催（8月）
- ・新町合併 20 周年記念事業 展示什器作成（8月）
- ・産学連携 武蔵野美術大学学生対応（9月）
- ・森高校 住生活デザイン（9月）
- ・さわら小学校、鷲ノ木小学校、森小学校 植樹(10月)
- ・南渡島市町村連絡協議会 iroMori 視察対応（10月）
- ・さわら小学校 木育授業(一般社団法人 KiKi、一般社団法人まなびのもり 11月)
- ・iroMori にてクリスマスワークショップ開催（12月）
- ・iroMori 町民利用対応（1月）
- ・森町令和 8 年度出生証明書制作（1月）
- ・札幌市 縄文雪まつり 出店(2月)
- ・森町役場 砂原支所木製カウンター施工（小川航輝さん 2月）

### ◎地域おこし協力隊インターンなどの学生受け入れ

- ・札幌市立大学 学部 3 年生 4 名
- ・札幌市立大学 大学院 2 年生 1 名
- ・北海道大学 大学院 2 年生 1 名

- ・神戸大学 学部2年生 1名

◎Matsu Café 等イベント参加を通じた地域交流や森町の発信の記録

- ・森町 場所：ヤマウミベース Matsu Café 軽トラ屋台展示（4月）
- ・森町 場所：ヤマウミベース さんもんカフェ  
（5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月）
- ・森町 場所：緑の家 Matsu Café 珈琲出張販売（5月、6月、7月、8月）
- ・森町 場所：地域活性化広場等 もりまち食 KING 市  
（5月、7月、9月、11月の全4回出店）
- ・森町 場所：ハル小屋 映画×コーヒー×お話 ワンコイン映画上映会  
主催：森まちアートシアター（7月）
- ・新町合併20周年記念事業「みんなの森町展」開催・出店（8月）
- ・少年バレエ団 オニウシ杯 出店（9月）
- ・木育フェスタ 出店（9月）
- ・Matsu Café 定期営業（地域活性化施設 9月、10月、11月、12月）
- ・秋のもりまち芝居 出店（11月）
- ・森町 もりっこ祭り 参加（1月）

◎出張・研修等の記録

- ・天草市 御所浦島 コミュニティースペース 芦北屋視察（5月）
- ・東京 山と木と東京 木いちマルシェ 出店（5月）
- ・ニセコ町 雪森学舎、ニセコ蒸留所 視察（5月）
- ・森町木工会（講師：くら cra 合同会社 代表:鳥倉氏 5月から月2回実施）
- ・食と観光創業塾  
白老町 haku hostel（6月）
- 札幌市 エア・ウォーターの森（9月）
- 浦幌町 hahaha hostel（10月）
- 本別町 喫茶 yuyuhi（10月）
- 札幌市 スタンピーズ カフェ&ダイニングバー（12月）
- ・木育マイスター研修、OJT 研修  
苫小牧2回（6月、10月）
- 函館市1回（8月）
- 千歳市1回（8月）
- 札幌市1回（8月）
- ・江差町 道南地域おこし協力隊研修・交流会（檜山振興局 9月）

- ・森町 木育マイスターフォローアップ研修（一般社団法人まなびのもり、道南森づくりの会 12月）
- ・函館市 道南地域おこし協力隊活動報告会（1月）
- ・長野県松川町、伊那市 IKUTO.Lab・株式会社やまとわ 視察（1月）
- ・東京 地域おこし協力隊全国サミット（2月）

### （3）成果と課題

#### 森町若年層担い手育成施設「iroMori」の活用、運営管理

今年度は施設内でのワークショップを計3回実施、町内事業者からの依頼で木製の野菜箱の制作、地域資源のPRグッズの制作、iroMori 利用者や見学者の対応を行った。

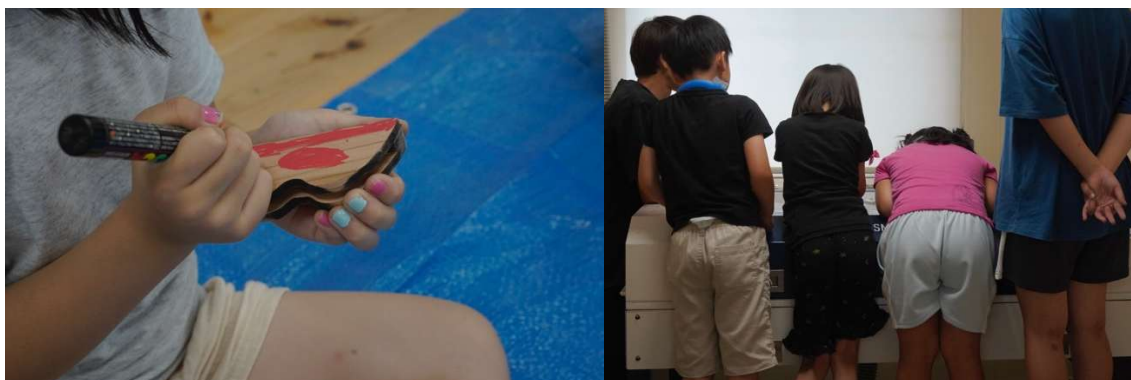
町営の木工施設として、町民は無料で機材の利用や会議室の使用、ものづくり相談等を行えるが、現時点では認知度が十分とは言えない。また施設が空いている時間が平日の8:30~17:15ということもあり町民の利用率が低いことが課題に感じた。

来年度は施設内でのワークショップを定期的を開催することを目標とする予定である。

#### 1、静岡県森町、北海道森町交換交流会における木育ワークショップ 20名



#### 2、町内事業者 児童デイサービスあおぞら木育ワークショップ 参加者 16名



### 3、クリスマスワークショップ 参加者 11名



### 4、町内事業者からの依頼で行った、木製野菜箱作りワークショップ



#### 地域おこし協力隊インターンなどの学生受け入れ

札幌市立大学 学部2名・大学院1名、北海道大学、大学院1名、神戸大学 学部1名  
合計5名の受け入れを行った。農林課地域おこし協力隊数名で分担して対応を行い、滞在期間内に森町の産業や事業者のもとへ案内しインプットを行った。その後最終成果物に向けてインターン生の強みを活かしたアウトプットをインターン生と話し合いを重ね、それぞれの強みを活かした成果物の制作サポートを行った。今年度や昨年度のインターン生の多くがSNSを活用した情報発信などを行っていたが、そのどれもが個人アカウントでありインターン期間終了後は活用されていないケースが多く見られた。また、インターン期間

のために新規アカウントを作成することも場合によっては難しい場合もあるためインターン生用の SNS アカウントを 1 アカウント作成し運用していくことがより良い継続的な情報発信に繋がると感じた。



#### Matsu Cafe 等イベント参加を通じた地域交流や森町の発信の記録

地域材の道南スギを使用し、制作した軽トラックの荷台に設置する木製屋台を学生時代に制作し、森町町内を拠点として珈琲を移動販売するキッチンカーとして使用した。

主に道南スギの PR、協力隊の発信、地域コミュニティ作りを目的に活動した。

町内イベントの食 KING 市への出店や同協力隊・内谷隊員主催の演劇への出店。地域活性化施設での月 4 回の営業やそれに伴う地元農家さんとのコラボも実施した。

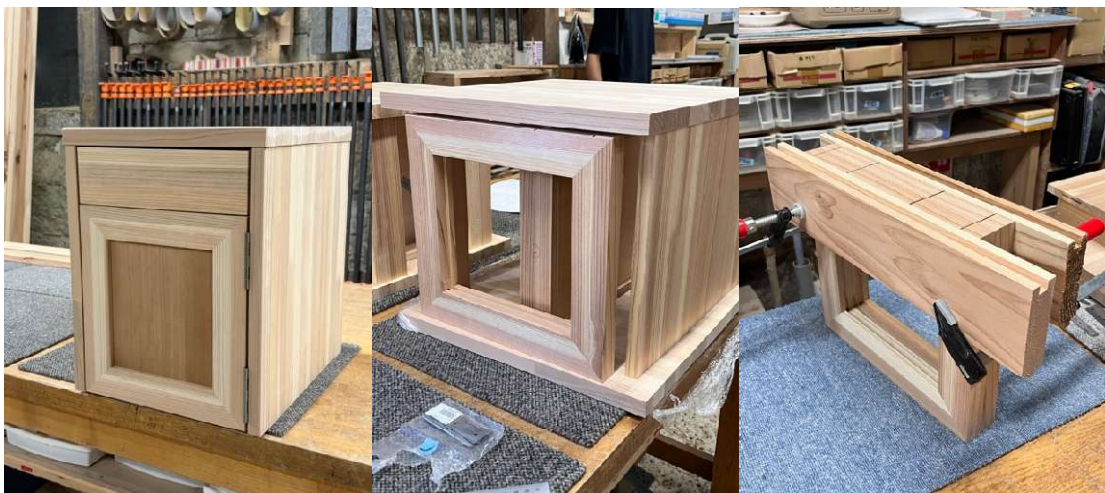
今年度はイベント出店が多く、自ら営業する機会が少なく地域コミュニティに入る機会が少なかったことが反省として挙げられる。来年度は定期的な営業を行い、町内に開かれたコミュニティ空間づくりやイベント出店、町内会等既存のコミュニティへの参加、町内食材を活かしたメニュー開発を目標とする。





#### ◎出張・研修等について

今年度は来年度以降や退任後の事業立ち上げのために必要な経験や知識、人脈を得るために町内に留まらず、町外道外への研修や出張視察も行った。主に地域コミュニティ運営事例や地域材活用事例の視察や木育ものづくり・珈琲・事業経営の研修等などに参加した。今年度の視察で学んだことを活かし、町内で木育活動や地域コミュニティスペースを運営することを目標とする。



↑木工研修（函館市）



↑木育マイスター研修（苫小牧市）



↑はまなす財団『食と観光創業塾』（浦幌町、札幌市、白老町、当別町）

#### （４）次年度への提案

##### ◎活動の継続または変更点

- ・森町若年層担い手育成施設「iroMori」の活用、運営管理（継続）

- ・空き家（現：ヤマウミベース）を活用した地域コミュニティスペースの運営
- ・地域資源を活用したものづくり（継続）
- ・他地域おこし協力隊との連携事業
- ・地域コミュニティ運営事例や地域材活用事例の視察や木育ものづくり・珈琲研修

## （5）総括

今年度は森町の地域おこし協力隊へ就任した初年度であった。

森町という地域を知り、今までの経験や技術をさらに学ぶため森町を巡り、他地域の事例視察を行う機会が多かった。

来年度は、今年度得た学びや構想を町内で具体的な形として実装し、地域に根ざした活動へと発展させていく。